

技術提案者を特定するための評価基準

評価項目	評価基準				評価ウェイト	
				判断基準		
予定管理技術者の経験及び能力 【計9点】	資格・実績等	資格要件	技術者資格等 技術者資格等、その専門分野の内容	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	2	
		専門技術力	業務執行 技術力	過去10年間の同種業務の実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	5
		情報収集力	地域精通度	過去5年間の佐賀市内での上下水道事業の業務実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
		専任性	専任性	手持ち業務金額及び件数(特定後未契約のものも含む)	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
小 計					9	
予定照査技術者の経験及び能力 【計7点】	資格・実績等	資格要件	技術者資格等 技術者資格等、その専門分野の内容	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	2	
		専門技術力	業務執行 技術力	過去10年間の同種業務の実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	3
		情報収集力	地域精通度	過去5年間の佐賀市内での上下水道事業の業務実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
		専任性	専任性	手持ち業務金額及び件数(特定後未契約のものも含む)	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
小 計					7	
予定担当技術者①験及び能力 【計7点】	資格・実績等	資格要件	技術者資格等 技術者資格等、その専門分野の内容	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1	
		専門技術力	業務執行 技術力	過去10年間の同種業務の実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	4
		情報収集力	地域精通度	過去5年間の佐賀市内での上下水道事業の業務実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
		専任性	専任性	手持ち業務金額及び件数(特定後未契約のものも含む)	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
小 計					7	
予定担当技術者②経験及び能力 【計7点】	資格・実績等	資格要件	技術者資格等 技術者資格等、その専門分野の内容	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1	
		専門技術力	業務執行 技術力	過去10年間の同種業務の実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	4
		情報収集力	地域精通度	過去5年間の佐賀市内での上下水道事業の業務実績	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
		専任性	専任性	手持ち業務金額及び件数(特定後未契約のものも含む)	別紙2『技術提案書の提出者を選定するための基準』と同様。 なお、『一次審査での評点×0.5』を、二次審査における評点とする。	1
小 計					7	
技術者分野計(1次審査からの移行点=1次審査での評定点(60点)×0.5)					30	

評価項目	評価の着目点		評価ウェイト		
	判断基準				
プレゼンテーションにおける 業務理解度等 【計15点】	ヒアリング	業務理解度	地域の実情を把握し、当業務を遂行するにあたり、課題や留意点などを十分に理解している場合には優位に評価する。	5	
		取組姿勢	提案した特定テーマに関する補足説明が明確で、取り組む意欲が強く感じられる場合に優位に評価する。	5	
		信頼性	業務完了まで責任を持って業務を遂行する工程管理能力を有している場合に優位に評価する。	5	
特定テーマに対する 技術提案 【計50点】	全体	評価テーマ間の整合性	相互に関連する複数の評価テーマ間の整合性が高い場合は優位に評価し、矛盾がある等整合性が著しく悪い場合は評価しない。	5	
	特定テーマ1	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	5	
			必要なキーワード(着目点、問題点、解決方法等)が網羅されている場合に優位に評価する。		
			事業の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。		
		実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	5	
			当業務全体を十分に理解した上で、現実味のある業務手順を提示している場合に優位に評価する。		
			設計しようとする内容について適切な留意点が明示されている場合に優位に評価する。		
	独創性	工学的知見に基づく新しい提案がある場合に優位に評価する。	5		
		業務経験や知見を基にした独自の提案がある場合に優位に評価する。			
		当案件の課題や問題を理解した独自の提案がある場合に優位に評価する。			
	特定テーマ2	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。	5	
			必要なキーワード(着目点、問題点、解決方法等)が網羅されている場合に優位に評価する。		
			事業の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。		
		実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	5	
			当業務全体を十分に理解した上で、現実味のある業務手順を提示している場合に優位に評価する。		
			設計しようとする内容について適切な留意点が明示されている場合に優位に評価する。		
		独創性	工学的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。	5	
			業務経験や知見を基にした独自の提案がある場合に優位に評価する。		
			当案件の課題や問題を理解した独自の提案がある場合に優位に評価する。		
		特定テーマ3	的確性	当該業務内容の知見を有し、当事業内容を理解し、的確な業務遂行が期待される場合に優位に評価する。	5
				必要なキーワード(着目点、問題点、解決方法等)が網羅されている場合に優位に評価する。	
				事業の難易度に相応しい提案となっている場合に優位に評価する。	
	実現性		提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	5	
			当業務全体を十分に理解した上で、現実味のある業務手順を提示している場合に優位に評価する。		
実施しようとする内容について適切な留意点が明示されている場合に優位に評価する。					
独創性	工学的知見に基づく全く新しい提案がある場合に優位に評価する。		5		
	業務経験や知見を基にした独自の提案がある場合に優位に評価する。				
	当案件の課題や問題を理解した独自の提案がある場合に優位に評価する。				
小 計			65		
見積金額(円) 【5点】	業務コスト			5	
小 計			5		
技術提案分野 計			70		
合 計			100		